

場所にも時間にもとられない!
自由にはたらくフリーランスたち



そもそもフリーランスって？

フリーランスは特定の団体や企業などに入らず、個人で働き自分の技能を売りにすることで生計を立てる社会的に独立した個人事業主のことで、デザイン以外にもカメラマン、ライターなど様々な職種があります。
(このサイトでは主にデザインフリーランスについて取り扱っていきます)



フリーランスになるには？

フリーランスになりたいとはいえど現役フリーランスをしている学校内の先生方は最初からフリーランスだったのでしょうか。
実は最初は普通の会社員だったりと案外そうでもないみたいです。
寧ろ最初からフリーランスの方が至難の業でもあります。

E先生の場合 元々独立志向が強く、学生時代から社長になりたかった。



営業職で稼ぎ入学

- 卒業
- 新卒で映像/DTP/3D/Web会社に就職
- 震災により都内へ
- 印刷会社(グッズ/3Dプリント等)に就職
- 転職
- 派遣会社(内勤+出向)に就職

独立

- ・派遣会社時代の会社や同僚、取引先から仕事をもらう
- ・商工会デザイン専門家に就任、地域の仕事を請け負う etc...

S先生の場合 独立して自己表現する機会が欲しかった。



高卒後、車の事務職に就職

- 退社
- BOOK・OFFでバイトしお金を貯めながら、20歳で千葉デに入学
- 卒業
- ブラック会社に就職
- 5年後退社
- 数ヶ月間のニート期間

独立

- ・社内広告 etc...

仕事探し

フリーランスとして独立しても仕事を探さなければ意味がありません。
仕事の探し方はさまざまな方法があります。

1.会社時代の社長や同僚、取引先からもらう

E先生のように派遣会社時代からお仕事をもらえたりすることもあります。
上手く関わりを残していくことが大切になります。

2.クラウドソーシングを利用していく

依頼側(企業)と受注側(登録ユーザー)を仲介するソーシャルネットワークのことで、登録することにより企業からのお仕事依頼を受けることができます。

- 以下代表的なクラウドソーシングサイト↓
- ・Lancers(ランサーズ) <https://www.lancers.jp/>
- ・ママワークス <https://mamaworks.jp/>

3.同じデザイナー仲間を作る

同じ千葉デザイナー学院に通うクラスメイトたちは、卒業してもなるべく付き合いを持っていた方が良いでしょう。もしかしら仲間を通じて仕事ももらえたりする可能性があります。

4.SNSの利用

SNSを利用して自分の名を広げる方法もあります。様々な企業との出会いがあるかもしれません。

フリーランスで働くメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時間の節約 ・人間関係から解放される ・収入アップも夢じゃない ・土日平日関係なく休める 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが乱れる可能性がある ・収入が不安定 ・社会的信頼度が低下してしまう ・事務仕事も自分で行わなくてはならない



E先生の実際の本音

ローンが踏みづらなので土地、家、車はキャッシュで買わなければなりません。
結婚も相手の両親によっては認められる可能性もあります。

フリーランスは自由な魅力に感じる人もいますが、その分責任も生じます。メリット、デメリットをしっかりと併せてフリーランスになるかを考えるようにしましょう。

フリーランスS先生の1日

フリーランスはいつでも好きな時間に仕事を始め、好きな時間に終わらせることが強みです。
そんな決まりのない時間配分を、どのように日程を組んで、納期に間に合わせるのでしょうか。
そこで学校内のS先生に一例として協力してもらいました。



インボイス制度について

インボイス制度とは

簡単に言えば消費税を別にして請求書を出すことが可能になる制度です。
(今までは年収1000万以上のしか発行できなかった)

なぜ導入されてしまったの？

1.益税をなくすため

「益税」とは国や地方自治体に納められなかった消費税が、事業者の手元に残る税金です。
年収1000万以下の個人事業主は対価に対する消費を払わなくて済むため、課税事業者との不公平が生まれてしまいます。そうした問題をなくすための制度でもあります。

2.複数税率に対応するため

2019年10月に軽減税率の8%が導入されてから8%と10%の2種類が混在しています。
そのため、税率ごとに分けて計算しないといけないのです。

何が問題なの？

1.めんどくさい

新しい制度には何かしらの新しい書類が増えます。従来の区分記載請求書から記載項目が増えたり、仕入税額控除の要件変更があったりと、請求書関連が複雑になりとにかくめんどくさいです。

2.発注減のリスク

インボイス制度によって依頼した企業側が消費税を払わなくて済むので、逆に考えればインボイス登録を済ませていないクリエイターは企業側が払わなくてはいけなくなるため断られる可能性があります。





Freelance Worker